

『物語の森へ』をめぐる

講師 張替恵子氏 護得久えみ子氏

《プログラム内容》

10:00~12:00

- 《1》先達のLEGACYを引き継いで
 - ・ブックリスト作りの原点と系譜
 - ・児童文学に対する先人たちの姿勢
- 《2》東京子ども図書館のブックリストの系譜
 - ・子どもの本研究会～児童図書館蔵書目録にいたるまでの流れ
 - ・書評カード、Basic Listの採用にいたる経緯
- 《3》『物語の森へ』はどんな本なのか？
 - ・配列・収載範囲・解題・出版履歴・引用文等、基本蔵書におけるこだわり
 - ・具体的な検索・解題例
- 《4》今後の展開について
 - ・ノンフィクションの蔵書目録「知識の海へ」
- 《5》「物語の森へ」に込めた思い
 - ・廃刊になった本の復活にむけて
 - ・時を超えて力を持つ本の復刊キャンペーン



◎紹介して頂いた絵本の一部

	題名	作者	出版社
1	私たちの選んだ子どもの本	子どもの本研究会編	東京子ども図書館
2	私たちの選んだ子どもの本	東京子ども図書館	東京子ども図書館
3	児童文学論	リアン・スミス	岩波書店
4	大きなたまご	オリバー・バターワース	学習研究社
5	大きなたまご	オリバー・バターワース	岩波書店
6	死の艦隊	メノ・ホルスト	学習研究社
7	勇敢な仲間	チャールズ・ジョセフ・フィンガー	岩波書店
8	新しいおとな		河出書房新社
9	子どもの図書館	石井桃子	岩波書店
10	子どもと文学	石井桃子 他	岩波書店

★7月の中村柁子氏に引き続き、今回も予想を超える80名もの受講生で賑わう大盛況の講座となった。参加者はボランティア、図書館司書、子育て中の母親等、「子どもと本をつなぐ場所」にいる大人たちであり、「児童文学の学びの場」として、ゆめ基金の講座がしっかりと宇都宮に根づいているのを改めて感じた。

目録作成にあたり、先達たちの児童文学に対する深い思いを尊重しつつ、さらにリスト作りを「目に見える化」することで、時間を超えて、子どもたちに「より深く、より豊かな本の楽しみ」を与えていこうとする東京子ども図書館の姿勢が真摯に伝わってきた講座であった。「目の前にいる子どもをたいせつに考えよう」との言葉に、多くの参加者は大きく頷いていた。講座後も多くの参加者は会場に残り、本や目録を間に講師との歓談に花を咲かせていたのが印象的だった。今後の活動に大きな力を与える実り多き講座であった。

